

私の一番好きな花

宇敷 辰男

今から二十二年前、上高地の澄んだ豊かな水の流れと穂高連峰を眺望する景色の中を妻と歩いたのがきっかけで、山歩きが好きになった。それ以来ドライブで季節ごとに歩きやすいコースを探して出掛けている。妻は山野草を写真に収めながら歩くのが好きになり、高山植物を求め夏には蓼科を訪れるようになった。

ビーナスラインを走っていくと道沿いに大きな白い山野草シシウドに出会うことが出来る。シシウド族≡*Angelica*は北半球に広く分布しラテン語の *angelus* (天使) が語源であるが、猪独活 (ししうど) は日本の固有種で根は生薬の独活 (どっかつ) になる。苦みが強くウドと違って猪しか食べないからそう名付けられたという説がある。山地に自生し開花時期は夏で秋には結実する。

信州佐久平から蓼科を目指して走っていくと白樺に囲まれた木立の中でシシウドが出迎えてくれる。ときに霧雲が周りの緑の山を覆い隠す八島ヶ原湿原を歩いて一周すると、鶯の声にのって吹く風に大好きなシシウドがゆっくり静かに揺れている。

湿原を廻る木道の脇に小さな円筒形の花をつけたワレモコウが咲いていた。その鮮やかな濃いワインレッドの隣に白く咲くシシウド。天に向かって力強く伸びた太い茎の先端から尺玉が炸裂したように細い枝が広がって大輪の打上げ花火のように白い花を咲かせている。

霧が流れる湿原に咲くフウロ。その濃いピンクや薄いピンクが色を添える遊歩道に沿って咲くシシウドの大輪に近づくと、細い枝の先端で線香花火の閃光が弾け飛んだ火花のように白く花開いていた。

青空に夏雲が浮かぶ空の下に咲くアザミ。その赤紫や薄紅の花の上に咲く白いシシウドを下から見上げると速射連発花火スターマインのように見えてくる。

フラワーショップで探してもシシウドもアンジェリカも見つからない。成長すると二杯にもなるので家庭栽培も難しい。こんな花に囲まれ守られ見送られ、昇って天使に逢ってみたいのだがそれは叶わぬ、私の夢の一番好きな花である。